

第27章 地域編③：中部ジャワ州

1. 地域概要

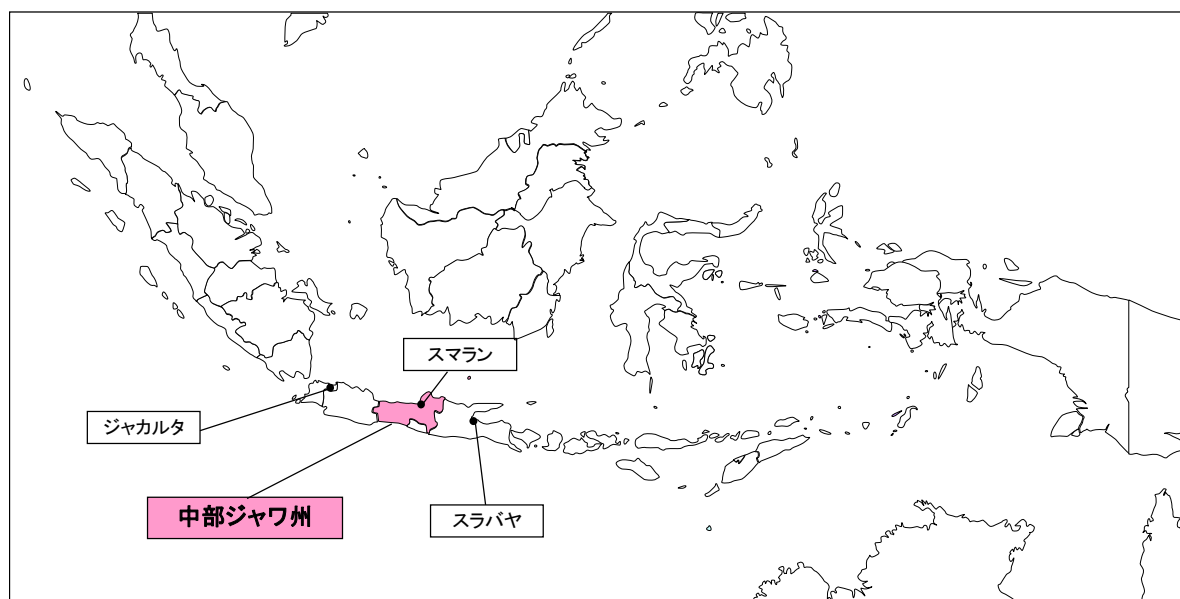
(1) 概要

①インドネシア国内における経済的地位

中部ジャワ州は、首都ジャカルタ・西ジャワ州と、第2の都市スラバヤ（東ジャワ州）を結ぶ、ジャワ島の中央にある（図表 27-1）。29 県、6 市に分けられており、ジャワ島の面積の 25% を占める。人口は 3,652 万人と全国の 13.5% を占める。州都スマランはタンジュンウマス港を擁する。また、中部ジャワ州に囲まれているジョグジャカルタ特別州の古都、ジョグジャカルタには、世界文化遺産にも登録されているボロブドゥール寺院（仏教遺跡）が立地しており、多くの観光客を集めている。

ジャワ島西部のジャカルタや同島東部のスラバヤから距離があり、また、同地域には、日系企業主導の工業団地がないため、日系企業の進出のハードルはやや高くなっている。

図表 27-1 中部ジャワ州（地図）



（出所）白地図専門店（三角形）より作成

②工業団地・日系企業進出動向

2021 年の中部ジャワ州への FDI 総額（実行ベース）は 27.2 億ドルで、全国の FDI に対する構成比は 9.0% となった。西ジャワ州や東ジャワ州に比べ、中部ジャワ州に進出している日系企業は少ない。電源開発、伊藤忠商事が出資する石炭火力発電所、バタン発電所が 2022 年 9 月に商業運転を開始している。

(2) 進出日系企業から見た事業・生活環境やコスト

中部ジャワ州は安価で豊富な労働力が魅力であるが、日系企業の進出件数は少ない。駐在員の子女の学校や病院の環境など、西ジャワ州や東ジャワ州と比較すると、生活面でのハードルが高い。

①インフラ・物流

【空港】

中部ジャワ州には 3 つの国際空港がある。北部スマランにあるアフマド・ヤニ国際空港（通称スマラン空港）と、中部スラカルタ（ソロ）にあるアディスマルモ国際空港、2021 年に運用を開始したスディルマン空港である。アフマド・ヤニ国際空港は 2018 年 6 月から新ターミナルの供用が開始したことで、利用者処理能力は従来の 80 万人から 690 万人にまで増加した。

【港湾】

中部ジャワ州には 2 つの国際港、タンジュンウマス国際港（通称スマラン港）とインタン港（チラチャップ）がある。前者は拡張工事により、荷役処理能力を年間 80 万 TEU まで拡張している。後者も近隣の工業団地への企業の進出が進んでいることから貨物取扱量が増加している。

②労働事情

【人材】

2020 年の中部ジャワ州の人口は 3,652 万人で（全国の人口の 13.5%）、全 34 州の中で西ジャワ州、東ジャワ州について 3 番目に人口が多い州である。失業率は 2022 年 8 月が 5.57%であり、ジャカルタの 7.18%、西ジャワの 8.31%と比較すると低い水準となっている。温厚でのんびりした土地柄のため、定着率は高いが仕事の効率性に課題があるようだ。

【賃金】

中部ジャワ州の 2022 年の月額最低賃金は 181 万ルピアである。全国平均（361 万ルピア）の 2 分の 1 の水準であり、ジャカルタ特別州（464 万ルピア）の 4 割弱の水準であるなど、その水準は全国でも低い方に位置する。近年はジャカルタ特別州や西ジャワ州との賃金格差が広がったため、中部ジャワ州の人件費の安さを求めて、縫製業を中心とした労働集約型産業の工場が中部ジャワ州に移転する動きも見られる。

③生活環境

工業団地のほとんどが州都スマラン近郊に位置する。生活にかかるコストは、ジャカルタと比較すると安価であり、ジェトロの調査によれば駐在員用住宅の借り上げ料も 3 分の 1 程度で済むようである。

同市には日本人学校がないため、駐在員の児童はスマラン・インターナショナル・スクールに通っているようだ。また、2017年にはスマラン日本語補習授業校が月2回の授業を開始した。市内にはショッピングモールが数軒立地しており、和食や洋食のレストラン、カフェなどが展開している。2019年10月には市内の商業施設にユニクロが出店した。医療面では、市内には24時間救急対応している比較的大規模な病院もある。しかし、医療水準は決して高くなく、受診にはインドネシア語の通訳が必要となるため、重症の場合はシンガポール（直行便を利用して片道2時間程度）の日本人医師が在籍するクリニックを受診するケースが多い。

なお、2017年にインドネシア都市計画協会が各主要都市の住民に対して実施した調査によると、経済、社会、文化に係る29項目について、住民の満足度が最も高かったのは中部ジャワの古都スラカルタ（ソロ）となった。スラカルタはジョグジャカルタの北東55 kmほどの所にあり、ジョコ大統領の出身地である。

2. 主要工業団地

中部ジャワ州に立地する主要工業団地を以下の表にまとめた。なお、インドネシア政府の重要戦略インフラ事業である「国家戦略プロジェクト」に指定されている中部ジャワ州のバタン工業団地（Grand Batang City）では、既に進出を決めた企業による2023年の生産開始に向け、工事・建設が始まっている。第1フェーズはほぼ完売しており、半数以上が韓国企業となっている。2022年5月には韓国LGが中部ジャワにEV用バッテリー工場設立を発表している。

No.	工業団地名	Address (県/市)
1	Tanjung Emas Export Processing Zone	Jl. Coaster No.8 Pelabuhan Tanjung Emas Semarang 50174
2	クンダル工業団地	Jl Raya Arteri KM 19, Kel Brangsong, Kec. Brangsong, Kab. Kendal 51371 Jawa Tengah - Indonesia

(出所) 日本アセアンセンター